

## Small Step, Giant Leap

卒業生の皆さん、お久しぶりです。いよいよ明日、通い慣れたこの校舎ともお別れということになります。果たして今、どのような心境でしょうか？

さて、私が皆さんにお伝えしたいことは式辞の中で、ということなのですが、この場においても一言…。

「卒業する」という英語、graduateの語源はラテン語の「gradus(グラドウス)」だそうです。この単語は「**一步**」とか「**段階**」という意味で、そこから派生してgrade「学位、成績」や、gradation「グラデーション、色彩の段階的な変化」という単語もあります。

ということで、高校を卒業するということは、「**人生のステージを一段階上がった**」ということを意味します。ここで大切なのは、あくまでも「**一段階上がったに過ぎない**」、ということです。つまり、市千葉を卒業した、或いは、第一志望の進路を実現した、などということで「**その後の人生は安泰!**」ということは全くなく…まだまだ上がるべきステップはあるのだ、と自覚しておくことが必要なのです。

しかし逆の言い方をすれば…「**たかが一步、されど一步**」…「**0**」と「**1**」の差というのは、**とてつもなく大きい**ものです。一段階上がったのか、上がらなかったのか…これは非常に大きな違いです。卒業生の皆さんは明日、階段を一步上がるわけですから、このことを誇りに思い、大きな自信にしてほしいと思います。

\*\*\*\*\*

1・2年生の皆さん、自分自身が卒業式を迎えるときのイメージはまだ湧かないかもしれませんが、そう遠い先の話ではありません。我々大人はほぼ一様に「高校3年間はあっという間だったなあ」と言うはず。そしてたいてい、「高校生を見ると、なんか、羨ましくなるなあ…」と思うものです。

そんな貴重な高校時代…その中で果たして何をすればいいのか?…と問われると…実は特に決まった答えはありません。人それぞれです。ただやはり、先ほど述べたように、高校はあくまでも長い人生の**通過点**に過ぎません。そのことを意識して過ごすのか、それともそこは考えずに、なんとなく過ごすのか…。何をするのかという問題ではなく、**意識するかしないか**という問題なのだと思います。

\*\*\*\*\*

さて、まだまだ先だと思っていた学年末考査は、いよいよ来週から始まります!しっかりと準備して、学年**最後**の考査で**最高**の結果を出せるよう、頑張ってください!